

理研NMR施設成果非占有利用報告書

08-200-016

利用機関名	京都大学	
実施部署名	工学研究科 分子工学専攻	
実施責任者管理職名・氏名	准教授・朽尾 豪人	
実施部署所在地		
実施部署連絡先		
利用課題名 (利用目的)	ユビキチン結合ドメインによるポリユビキン鎖認識機構の解明	
利用実施時期及び期間	平成20年10月20日午後～平成20年11月4日午前 総利用日数：2週間 当初計画どおり・当初計画変更 (変更理由)	
利用施設	NMR装置 (該当部分に○)	<p>利用装置①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ()600MHz、(○)700MHz、()800MHz、()900MHz (○)低温プローブ付 ()固体プローブ付 ()サンプルチェンジャー付 <p>利用期間1：平成20年10月20日～平成20年11月4日</p> <p>利用期間2：平成 年 月 日～平成 年 月 日</p> <p>利用期間3：平成 年 月 日～平成 年 月 日</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>利用装置②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ()600MHz、()700MHz、()800MHz、()900MHz ()低温プローブ付 ()固体プローブ付 ()サンプルチェンジャー付 <p>利用期間1：平成 年 月 日～平成 年 月 日</p>

		利用期間 2 : 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 利用期間 3 : 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
		利用装置③ ・ () 600MHz、() 700MHz、() 800MHz、() 900MHz () 低温プローブ付 () 固体プローブ付 () サンプルチェンジャー付 利用期間 1 : 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 利用期間 2 : 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 利用期間 3 : 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
	立体構造解析 パイプ ライン	・ 発現確認 : 利用回数 回
		・ フォールド判定 : 利用回数 回
		・ 大量調製 : 利用回数 回
		・ 構造決定 : 利用回数 回
利用満足度 (複数選択不可)		(○)大いに満足、()ほぼ満足、()やや不満、 ()大いに不満
成果の概要	実施内容	diubiquitin と tandem ubiquitin-interacting motifs をもつ Rap80 の複合体における、側鎖帰属用のスペクトル、およびプロトン間距離情報取得用の NOESY の測定を行った。 側鎖帰属のため、CC(CO)NNH, HCC(CO)NNH の測定を行った。複合体間の距離情報を獲得するため、15N-edited NOESY, 13C-edited NOESY, 15N,13C-filtered 15N-edited NOESY, 15N,13C-filtered 13C-edited NOESY の測定を行った。

	<p>本課題により得られた成果、当初目標と結果との比較</p>	<p>当初計画していた測定の全てを予定通り行うことができた。さらに全ての測定において良好なスペクトルが得られ、側鎖の帰属、NOESY の解析が可能であると考えられる。</p>
	<p>今後の展開、課題</p>	<p>今後は、側鎖の帰属、NOESY の解析を行い、複合体の立体構造解析を進める。得られた構造情報に基づき、生化学実験を行ない、diubiquitin と tandem UIMs の相互作用様式を解明する。</p> <p>測定中に HSQC スペクトルに若干の変化が見られた。構造解析には影響のない程度であるが、試料が一部、分解・変性した可能性がある。安定なサンプル調整を目指す。</p>
<p>成果公開延期の希望の有無</p>	<p>() あり : () なし 「あり」の場合理由 :</p>	

<p>利用における感想 (改善要望等を含む)</p>	<p>スタッフの方のサポートがあり、非常に助かった。</p>
<p>利用周辺環境に関する 希望</p>	
<p>今後の利用形態の予定</p>	<p>(<input checked="" type="radio"/>) 成果の非公開を前提とした「外部利用」(有料)を考えている。 () その他理研との共同研究等 具体的に</p>
<p>今後期待するその他の サービス</p>	<p>() NMR 装置利用の教育 (これまで NMR を使用した経験の無い方に対する教育も含む) () NMR 装置利用の技術的なサポート () その他 具体的に</p>

その他	(上記の項目以外でご意見等お願いします。)
-----	-----------------------

本報告書については、印刷または必要な編集・加工を行った上で公開します。また、別途開催予定の成果報告会・シンポジウムや委託事業報告書作成時において、本報告書の内容についての資料作成または発表をお願いする場合があります。

特許取得等の理由により公開の延期を希望する場合は必ず事前にご相談ください。